

第74回コロナ本部会議(4月15日)

○司会

それでは、ただいまより新型コロナウイルス感染症対策本部の会議を開催いたします。まず、平井知事より御発言をお願いします。

○知事

皆様、こんにちは。本日は鳥取大学の景山先生にもお越しをいただき、また、長井鳥取市保健所長様にも御同席を賜わる形で、この対策本部を行うことといたしました。今日の案件としては、北栄町に関わるものでございますので、特に松本北栄町長から出席をというお話もございました。今日は松本町長を交えて、この対策本部を進めさせていただくこととなります。この新しい話としてございますのは、13日にお1人見つかった症例からさらに昨日、その症例の関連の方々、調査をいたしました。その結果、北栄町大栄庁舎におきます職場の中におきまして、5名の方の感染が確認をされました。また、関連してもう1名、関連の感染がございます。したがって、鳥取県クラスター条例に基づきまして第9番目のクラスターとして認定をさせていただくことといたします。なお、最近の事例としてこのほかにも3件、当本部のほうに御報告を申し上げておりますし、そのほかの資料のほうも私どもホームページのほうに貼付をさせていただくことといたしております。

今回の案件でありますけれども、今、スクリーニング調査を進めておりますが、そのうちスクリーニング調査を終えたところではスクリーニング陽性、即ちN501Y、イギリス型と言われる変異株であることが分かっております。一連の感染でございますので、同じ株によるものだと思います。県民の皆様、特に北栄町の皆様には御注意をいただきたいと思いますが、この変異株は従来のウイルスと違いまして非常に感染力が強いです。それで、今、3月の末から今月にかけて既に100件ほど感染が広がっていますが、その多くがこうしたN501Y等の変異株がもたらしているものでございます。

そういう意味で、感染力の強いウイルス相手でございますので、今回のように一気に職員の間で感染が広がったのではないかと、こういうふうに推察をされるところでございます。町民の皆様、県民の皆様におかれましては、このような感染が広がりやすい現在のウイルスの状況というのをしっかりと頭に入れていただきまして、予防のレベルを徹底していただきたいと思っております。マスクの着用でありますとか、また、接触感染ということがございますので、手指消毒、手、指の消毒でありますとか、そのほかにも鳥取県は比較的職場など難しいかもしれませんが、距離を取ることは可能でありますし、パーティションを置くなどのそうした工夫も職場ごとに行っていくことも非常に大切であります。

このようなことで予防のレベル、感染対策のレベルをぜひ上げていただきたい、そういう意味で、私どもとしても今回のN501Yによる感染が広がっているということから、コロナウイルスの感染増大警戒情報を出させていただきたいと思っております。それで、併せまして、新型コロナ警報を同じく北栄町に発令をさせていただきます。ぜひしばらくの間ですね、こうした状況にあることを頭に入れていただきまして、御注意をいただければと思います。

鳥取県のクラスター対策条例に基づきまして、今、順次対策を進めております。松本北栄町長とは昨日来、度重ねて電話で協議をさせていただき、様々な調整を始めさせていただいております。町のほうの協力をいただきながらクラスターが感染拡大しないように、今、取組をスタートいたしました。例えば庁舎のほうは、実はいろいろとお互いの協議がございましたが、最終的には閉鎖をさせていただいております。これに基づきまして町民の皆様には御不便をおかけしていると存じますけれども、しかしながら、非常にうつりやすいウイルスでありますので、慎重に考えていく必要がありますので、ぜひ町の御当局、また、町民の皆様にも御理解と御協力をいただきますようお願いを申し上げます。

また、この町内におられる方が、この大栄庁舎に来庁されたことがあるかもしれません。そういう意味でPCR検査の特別の検査会場を隣接するところにつくらせていただきました。町にも御協力をいただきまして、場所を提供いただき、鳥取県のほうから20名、人を派遣して今、運営をさせていただいております。今日の午後から検査を開始いたしております。これも町の御協力をいただいております。また、呼びかけをするということで町のほうでも自らその町の庁舎ということ公表をされ、その周知を町民に対するアナウンスとしてされておられます。こういうことをもちまして、クラスター対策条例の公表は自ら名称公表をされた扱いとなりました。今後もしっかりと専門家も入りながら、対策を取ってまいりたいと思います。

今日既に我々の専門家チームが入っています。荒川先生など現場に入られまして、その庁舎の状況、それから今回の感染の広がり方について調べを始めていただいております。そういう中で、庁舎全体に対する対策が必要であるというような分析になってきておりますので、そうした専門家の考え方を踏まえて慎重な今後の道行きをつくっていきたいと思います。また、クラスター対策監住田を派遣をいたしまして、関係のチーム40名体制、県からの応援も検討しているところでございまして、もう既に活動を開始しているところであります。

併せまして今回役場の本庁舎がクラスター施設になってしまったという大変に特殊な事例であります。心苦しい状況ではあるんですけども、そういう中でBCP業務継続を果たしていかなければなりません。本県といたしましても、市町村の担当課長を現場のほうに派遣をさせていただき、今、調整も始めています。ぜひ、近隣の市町村長様にも御理解をいただき、この北栄町の業務継続につきまして格別の御協力をいただきますように私からもお願いを申し上げます。

こういう業務継続に向けました特別な対策も今回は必要になってきているところでございます。このクラスター対策と併せまして、今日からワクチン接種が始まりました。高齢者の方々のワクチン接種、まずは南部町と琴浦町で開始をしております。円滑に進みますよう、私どものほうでもバックアップをしていきたいと思っておりますし、昨日、兵庫県知事とも合意をいたしまして、県境を越えて但馬の西地域における鳥取県東部との一体的な運用、共同接種体制に向けまして、我々としても支援をしていくことを決めさせていただきました。

今当面、この連休ぐらいまで、こうしたうつりやすい状況が続いていくと思われまして、今、他地域におきましては、例えば関東地方で神奈川県、埼玉県、あるいは東海地方で愛知県、まん延防止措置に踏み切ろうかと、こういう動きになってくるぐらい全国でどんどん感染が高まっています。現状では恐らく止まる気配がございません。当面は残念ながら良くなるそういうものは、要素は見当たらないわけでありまして、ここは正念場と考えていただき、県民の皆様への格別の御協力をいただきたいと思います。

今回クラスター発生という残念な状況になっているところでもございますけれども、ただ、患者の皆さんは、今、病氣と懸命に戦っています。特にこのN501Yは、若い方々も重症化するものとして知られているのでございます。ぜひこうした陽性者の皆様、あるいはその御家族、あるいはそうした陽性者を抱える組織、こういうところをみんなで守るという心掛けで皆様にも御協力をいただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

○司会

ありがとうございました。それでは続きまして北栄町の松本町長様より御発言をお願いします。

○松本町長

北栄町長の松本です。町民の皆さん、また県民の皆様には大変御心配と御不安をおかけいたしまして、大変申し訳なく思っているところであります。一昨日、1人の職員が感染したということでPCR検査を受けたところでございまして、それに伴いまして、昨日、大栄庁舎の職員 185 名であります。調査をいたしました。そのうちまた4名が感染しておったというようなこととございます。最初の1名については熱があったということで自らが保健所のほうへ行って受けたということであります。あとの3名、4名のうちの3名は普段と同じ変わらない発熱のないような状況で検査した中で、陽性が確認されたということとすし、もう1人の方も、これは自ら行かれて陽性が確認されたということとありまして、なかなか分かりにくいような中で陽性が確認されたということとありまして、大変驚いているとともに、今後しっかりと対策をとりながら町民の皆さん、そして県民の皆さんに不安と動揺を与えないように取り組んでまいりたいと思っておりますので、県の御指導等を賜わりながら、一生懸命やっておりますので、どうかよろしくお願いいたします。